

CPCNEWS No.351

あすへ 5月号

昨日よりも今日 今日よりも明日

中国労組生産性会議 2026年度役員会を開催

中国労組生産性会議（議長：大野真人 連合広島会長）は4月13日（月）、2026年度役員会をワークピア広島（広島市）で開催しました。

初めに、「2025年度事業報告」「2026年度事業計画（案）」「役員を選任（案）」について審議し、原案どおり承認されました。その後、広島大学大学院人間社会科学研究科 人文社会科学専攻マネジメントプログラム 准教授 秋山 高志 氏に「どうして大企業がベンチャー企業に敗れるのか？ー創造的破壊ー」と題して、かつて世界を席卷した日本型製造モデルの競争力低下や、大企業がベンチャーの創造的破壊に屈した要因等について、講師のこれまでの豊富なご研究を背景に、経営学の諸理論を用いて多角的な視点から講話いただきました。

【大野議長 開会挨拶 要旨】

平素の中国労組生産性会議の事業運営に対するご支援ご協力に感謝する。

先月の3月30日、日本生産性本部から「生産性白書」が公表された。同白書では、我が国の労働環境が大きな転換点にあるとの認識に基づき、今後、労使等が共有すべき生産性改革の指針が示されている。

2025年の国内における出生数（外国人を含む）は70万5千人余りと、10年連続で過去最少を更新した。今後、さらに労働力が減少する中で、「労働の質の向上」を図る重要な局面を迎えている。

こうした背景から、同白書では、労働力不足をAIで補完し、人とAIが協働・共生することが掲げられており、従来のモデルから、新たな価値を生み出す「価値創造型」へとシフトすることが求められているのが大きな特徴である。

すなわち、働く一人ひとりがAIをパートナーとして使いこなし、価値を高める仕事を創出することで、生産性を維持・向上させていくことが肝要である。

<次頁へつづく>



大野議長による開会挨拶

今月のラインナップ

TOPIC 1

中国労組生産性会議
2026年度役員会を開催

TOPIC 2

西日本生産性会議（第54回）
神戸開催のご案内

TOPIC 3

2026年度新入社員研修会開催
～合宿研修 2泊3日
江田島青少年交流の家～

伝言板

今後のセミナー情報

中国生産性本部

CHUGOKU PRODUCTIVITY CENTER